

## 1. 業務概要

### (1) 業務概要

- 工期：自 令和2年 10月13日～令和3年 3月12日
- 発注機関：独立行政法人 都市再生機構
- 九州支社 住宅経営部 環境整備課

### (2) 目的

①過年度成果に基づいて再配置した遊具について、アンケートおよび利用実態調査による効果発現の確認、並びに目視による運動強度、活動量の視点 (METs) で判定をおこなう

②健康遊具の整備された団地における利用とQOL(人生の質の指標)の関係性について調査を実施し、健康遊具等の利用によるQOLの向上や、居住者の方々の健康寿命向上に寄与する施設整備の方向性を考えるための資料づくり

### (3) 対象団地位置

対象は、原、星の原、徳力、長住、室住の5団地である。



## 2. 調査と調査結果

### (1) 調査方法と対象団地

協議によって、団地毎に調査手法を定めた。星の原、長住は日程を調整できたが、その他現在も調整中である。

調査実施表

団地名	調査手法	調査場所対象	概要
星の原団地	利用実態調査	PL-1 PL-2	人数調査
	利用者アンケート	PL-1 PL-2	利用者 (又は親)
原団地	QOLアンケート	健康広場	1回実施 対象者は紹介し、郵送にて結果を受領する
	補完アンケート		
	METS調査		
徳力団地	QOLアンケート	健康広場	1回実施 対象者は紹介し、郵送にて結果を受領する
	補完アンケート		
	METS調査		
室住団地	QOLアンケート	菜園	1回実施 菜園利用者・団体を紹介いただく
長住団地	QOLアンケート	WR	1回実施 WR利用者・団体を紹介いただく
	補完アンケート	WR	

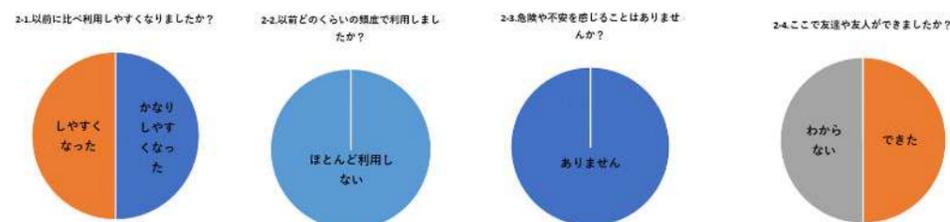
### (2) 調査結果

新型コロナ流行の影響を受け、調査を実施できたのは、星の原、長住の2団地のみであった。

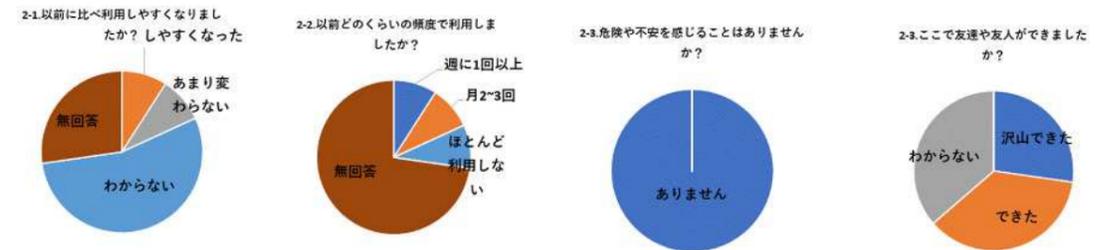
#### ①星の原団地の遊具利用実態とアンケート結果 (抜粋)

<PL-1>

※階層別に改修した PL



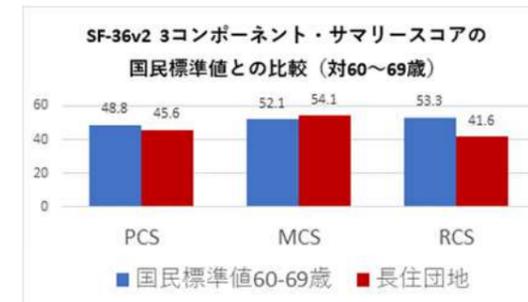
<PL-2>  
未改修 PL



利用階層を限定する改修の評判が良いが、利用率の向上にはつながっていないようである。

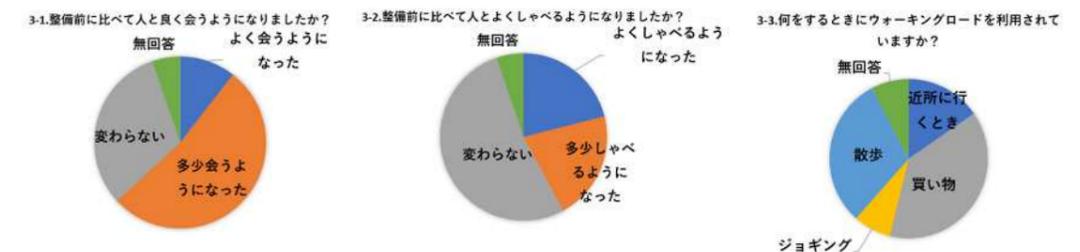
### ②長住団地の QOL アンケートスコアリング結果(抜粋)

QOLは3コンポーネント・スコアにて国民標準値と比較する。(2017国民標準値(60~69歳)と比較)現時点では、MCS以外は標準値を下回っている。



※3コンポーネント・スコアとは、アンケート結果を基に8つの下位尺度から、アジア諸国の気質を考慮した総合判定方法で、肉体的健康、精神的健康の2つに社会的健康を加えて健康を評価するものです

アンケート結果(抜粋)



## 3. 考察

### (1) 遊具の配置等について

階層別遊具配置に対応した階層のプレイロット利用が確認できた。安全面での安心感は大きい。ただ、対象を限定しすぎると、利用度が下がる傾向も見受けられた。(時間や、天候の影響も受けやすい)今後の年齢構成の推移や、利用率を考えるのであれば、干渉しない2階層に対応した遊具配置も考慮する必要がある。

### (2) METSによる遊具配置について

計画段階で、遊びの分類だけでなく、METsを考慮し複合的に遊具配置を検討するのが望ましい。健康遊具に利用のルートを設定する場合も同様である。

### (3) 健康遊具の配置等について

- 定期的な教室等の実施で、コミュニティが形成されやすい(ソフトとの連携が重要)
- 健康遊具の設置は分散配置でなく、ある程度集約して配置した方がよい。遊具の説明などがやりやすい。

年代別身体活動・運動の基準値

分類	年代	強度	1週間当たりの総量 METs・時	身体活動・運動と量の例
身体的活動	18-64歳	3METs以上	23	歩行又はそれ以上の強度の身体活動を毎日60分以上
	65歳以上	強度を問わない	10	どんな身体活動でもよい。毎日40分行う
運動	18-64歳	3METs以上	4	息が弾み汗をかく程度の運動を毎週60分以上
	65歳以上	なし	-	-